



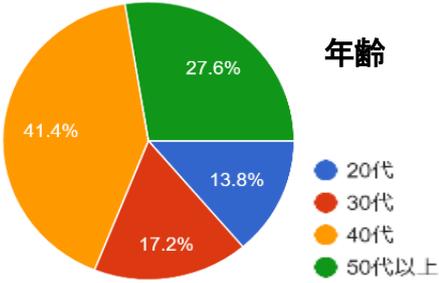
B U C きょうと通信

巻頭特集
「BUCアンケート」

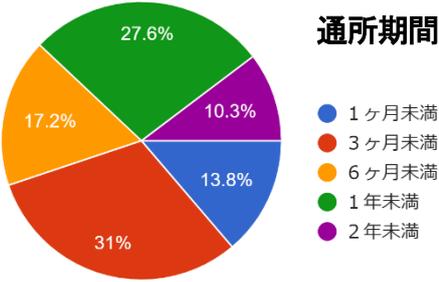
今年のぱっくる5、6月号で好評だった、メンバーさんへのアンケート第2弾です。「どんな人たちが通っているのだろうか...」特に通所して間もない方は気になるのではないでしょう。年齢・性別・通所期間に加え、ちよつと聞いてみたい質問と合わせて、次号と前後編で特集してみたいと思います。

(総回答数29名)

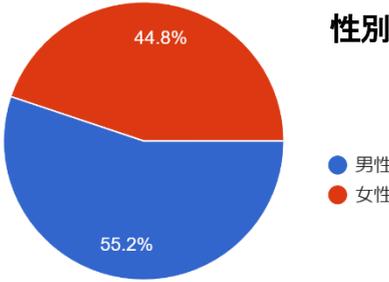
年齢



通所期間

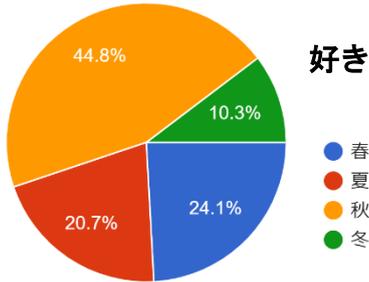


性別



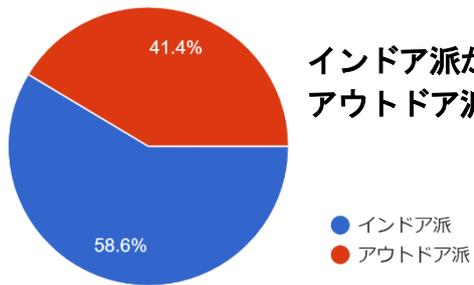
今月号のトピックス
 ■巻頭特集
 「BUCアンケート」
 ■今月のお題
 「小さい頃のクリスマスのエピソード」
 ■メンバー紹介／お知らせ／
 編集後記

好きな季節



コメント「最近では「気温がちょうどいい時期が短い」と言われるようになってきましたが、やはり過ごしやすいい「秋」が王道なのですね！
 秋が好きな理由としては、「紅葉が美しいから」、「飯がおいしく、体が楽だから」等がありました。この「ぱっくる」が発行されるころにはもうすっかり冬なのが残念です！
 秋の次に人気の春については、「桜が好きだから」「寒いのが苦手なので冬を越えてぬるい風が感じられるようになる」ととても喜びます」などの理由が寄せられました。

インドア派か
アウトドア派か



コメント「インドア派がやや優勢という結果になりました。
 インドア派の方の中には、「映画を見ながら手芸」「絵を描いたり漫画をみたりする」など、クリエイティブな趣味をお持ちの方もいらっしゃるようです。
 アウトドア派のみなさんの活動内容は、山登り、サイクリング、スポーツ、キャンプ、釣りなど、それぞれに充実しておられます。「外にいた方がいろいろな発見がある」という意見もありましたよ。

★「ぱっくるの目安箱」★

「ぱっくる」への感想、ご要望についても同時に募集しました。
 ○いつも楽しく読ませていただいております。ありがとうございます。
 ○ぱっくる11月号の特集は、面白かったです。カラフルで、明るいイメージで、背景も凝っていました。
 ○スタッフとの対談を載せてほしい。
 ○どんな職業の人がいるのかわかりたいです。
 ○メンバーさんの描くイラストがいつも楽しみです。意外な方が意外な才能を持っていることが分かり、明るい気持ちになります。

 お忙しい中ご回答ありがとうございます。
 来月号も、みなさんに聞いてみたい、ちよつとしたこと、をアンケート集計したいと思います。
 ご期待ください！

今月のお題
 「小さい頃のクリスマスのエピソード」

クリスマスは現代日本では欠かすことのできない大きなイベント！特に小さい子はプレゼントやケーキに心を躍らせることでしょう。
 そんなわけで、今月のお題は「小さい頃のクリスマスのエピソード」です！
 メンバーの皆さん、あるいはお子さんが小さかった時のエピソード、振り返っての「感想」などをお送りします！

◆K.H.さん

K.H.です。子供がまだ小さかったころ、クリスマスプレゼントを子供が寝ている間に子供の枕元に置かないといけないので、子供が寝るまでの間にクリスマスプレゼントを

隠しておくかで苦勞しました。当時2DKの小さなアパート暮らしでクリスマスプレゼントを隠して置ける場所もなく、結局、駐車場に止まっている車のトランクルームに隠した記憶があります。

◆N.Tさん

クリスマスの日にケンタッキーを頼んでいました。前もって予約をしないと買えないので予約をしていました。買いに行つて、いつものようにクリスマスセットを開けると手書きのメッセージカードが入っていました。ご来店ありがとうございますとあった内容です。クリスマスセットは人気で販売数も多いはずなのに、手書きなこと驚きました。暖かい気持ちになりました。



◆サンタさんはいます。さん

割とファンタジックで空想の世界を本気で信じている子どもでした。なので、小5のときに友達の家でプレゼントを隠してあるのを見つけても、「私のところには本物のサンタさんが来る」と思っていました。けれど、

ど、親には「サンタなんていない」と宣言。本心は「いる」と信じているのに…。クリスマスの朝、悲しい思いをしたことをいまだに思い出すとちよつぱり悲しくなります。

◆振り向けば秋さん

幼稚園の頃だったか、友達が「サンタなんかいないよな。」と言うのに私が何も考えずに「そうや、そうや」と同調して、それを聞いていた母親に「そうなん？サンタついでないの？じゃあ、プレゼントももらわれへんなあ」と言われると、私が、「えーと…」と言いよどむ、そんなことがあった記憶があります。サンタなんていないと気づいていたわけではなく、友達にただ合わせていただけでしょう。

◆ミドリノマルさん

幼い頃、朝と寝る前にお仏壇に手を合わせ「まんまんちゃん(＝仏さまの幼児語)今日も一日ありがとう」と唱える習慣がありました。クリスマスが近づくと、私の親は、なぜかまんまんちゃんにクリスマスに何が欲しいかお願いするよう言ったものでした。仏教と西洋文化の謎の融合には笑えるものがありますが、朝夕に何かに手を合わせる習慣は美しいものだったな、と思います。

◆N.Sさん

私が幼稚園の頃、冬にはクリスマス会がありました。大きな色画用紙で靴下をつくり、サンタさんにほ

しいものを書いた手紙を入れて帰るのです。私はサンタさんにプラモをお願いしました。次の日、ワクワクしながら靴下の中を探ると四角い箱が…！入っていたのはカルタでした。手紙書いた意味ねーじゃん！！サンタさんはいないんじゃないか？と疑問を持ち始めた瞬間でした。



◆豆助さん

クリスマスに「小学館の図鑑NEOシリーズ」を全巻プレゼントされたことが嬉しかったことを覚えています。中に、「飼育と観察」という図鑑がありました。小学生の時は、イッヌを飼いたいと毎日のように親に言っていたので、この図鑑を読み切れば飼ってくれるんだと思い、夢中で読みました。いまだに、イッヌはいません。

◆ボングロソソさん

息子が保育園児の時、「サンタさんに、このレゴブロックをお願いする」と、それは1万円以上する高価な物。私が「これは高いからサンタさん困らるので違うのにしたら？」、息子が「サンタさんは全部自分で作らるから何をお願いしても大丈夫

夫やねん、保育園の先生が言っただけで…。クリスマスの朝、サンタさんより望み通りのプレゼントが届き大喜びしていました。息子の笑顔、プライストレス。

◆抹茶スイーツ大好きさん

弟が4、5歳の時、クリスマスイブの夜に「うちの家は煙突がないから、サンタさんが入って来れるように窓を開けて寝る！」と言い出して、私が「煙突なくても入って来れるから、窓閉めて！」と大喧嘩し、弟が大泣きしました。その後、弟が寝落ちするまで、母は窓を開けた状態で、弟に温かい毛布をかけて一緒にいました。夢見る弟と、現実的な姉の話でした。

◆Y.Kさん

昨年、5歳の娘からクリスマスプレゼントにシルバニアファミリーが欲しいとせがまれました。娘は「サンタさんにちゃんとお願いしておいてな」と言うので、「分かった、お願いしておくよ」と返事。当日、プレゼントをもらった娘は喜びながら、「パパはどうしてサンタさんの連絡先を知ったの？なぜ？」と質問攻めしてくる娘。ハラハラしつつも、微笑ましいクリスマスでした。

◆S.Nさん

私の子ども娘2人・小4・小1は、まだサンタの存在を信じているみたいです。自分は何歳頃まで信じて

たかな？と思い返してみると…。両親の留守を狙って、兄と2人で押し入れを探り、サンタにお願いしていた「釣り道具セット」を見つけ出した。その日(確か、小4か小5)。サンタを信じる純真な子どもを卒業したのだと思います。

◆おにおんさん

私は誕生日が12月なので、誕生日とクリスマスのプレゼントを「合体」して買ってもらっていました。当時ファミコンとスーパーマリオブラザーズが大流行した頃で、必死でおねだりをするも、結局買ってもらえなかったのでもしよんぼりした思い出があります。豪華なプレゼントはありませんでしたが、母親が自分のためにケーキを頑張つて作ってお祝いしてくれましたので、とても嬉しかったです。

◆ぐーんぐーんさん

我が家にはサンタ文化はなかったですね…。学習机に毎年使い回しのブーツと、生協の動物スリッパ以外が置かれることはなく。母方祖母



に「サンタから」にやんたんのゲームブックが欲しい!」とお願ひしたら、包装紙の裏に「サンタ(おばあちゃん)より」と書かれていて、何でやねんと抗議したところ「だってお礼ゆわれないもん」と言われた夢も希望もない記憶しかないですね。

◆T.Iさん

クリスマスの食事会に連れていってもらったことがあって、その食事会のことはほとんど覚えていないのですが、その会の最後に抽選があつてそこでなんとデイズニードのチケットが当たつて、後日デイズニードに行くことができました。

母親が抽選当選した僥倖を喜んでいたので思い出しました。サンタクロスさんからのサブライズプレゼントだったのかもしれないと今思いました。サンタさんありがとうございます。



◆スクルージさん

残念ながら何ひとつ思い浮かびませんでした。そこで、今年のクリスマスには、大

人になつたわたしから子どもそのままのわたし(クリスマス・キヤロル)ディケンズの読み聞かせをしてあげようと思つています。「神さまのお恵みが、みーんなぜんぶにありますように!」

この結びの祈りがわたしにだけではなく、一人でも多くの人に届くことを願つて。

◆炙りサーモンさん

その時が来た。ここからは良い子は閲覧注意。サンタクロースの正体を知る時が…。小学4年生頃の出来事でした。毎年サンタクロースは来てくれました。しかし、毎年何か違和感を残して去っていくことがありました。この違和感の点と点に繋がつてしまい、現実を知ることになりました。あの時は純粹だったなと同時に段々知性がついてくるのも悲しいなと思ひました。笑

◆マドーナになりたかつたさん

たぶん小学校低学年の頃。イブの夜サンタに逢うため3つ年下の妹と一晩中起きていようと密談し、夜中過ぎまで頑張つた。が、結局、願ひは叶わず、どんなプレゼントが届いたのかも覚えていないが、その時までサンタの存在を信じていたことはずっと覚えています。大人になり自分の娘が同じ年齢になつた頃、幼なじみのお友達から「サンタはお父さんだよ」と聞いてきたようで、その冬は連日、厳しい尋問が繰り返された(その

年は何とか耐えきつた)。いつかサンタはお父さんだったと気づく時は来るけれど、あのドキドキ、ワクワクしたクリスマスの日の思い出はずっと残つていくね。

◆ふたご座流星群さん

1m50cm位のクリスマスツリーの飾りつけを姉弟達と一緒に رفتらけになつたりしました。動くサンタの人形が大好きでサンタになりきつて音楽に合わせて一緒に踊つていたそうです。毎年プレゼントが来るのが待ち遠しく何度もクリスマスの日を聞いて、サンタさんに手紙を書き返事が来たときは大はしゃぎしてたのを覚えています。



◆みかんさん

じつくり考えても小さい頃のクリスマスの思い出が浮かんでこなくて…。そう言えば、クリスマスの頃に12月下旬の母の誕生日祝いも兼ねて、家族みんなでケーキを食べていたなあと思ひ出した。年に1回、母が主役になる日で、ハッピーバースデーの歌や子ども達からの「誕生日おめでとう」の言葉に照れくさそうに笑つていた母の顔が思ひ浮かんで

できた。

◆F.Fさん

小さい頃サンタさんに手紙を書いて、枕元に置いて寝ていました。クリスマスが終わり母の手帳からその手紙が出てきて、驚いた記憶があります。当時は「なんで。なんで」と聞いてしまいました!

◆親思う心に勝る親心さん

あまり鮮明な記憶がない。お父さん・お母さん、ごめんなさい!微かな記憶を頼りに…。当時、小学生低学年の私は、弟が幼稚園の時、弟がサンタクロースのプレゼントをもらうのを見て、サンタは、パパだよって、いつ言つたらいいのかと、思つたような、思わなかつたような。ふと我が息子たちに、クリスマスの記憶はあるのだろうか?と心配になつてきた…。

◆K.Sさん

子供の頃の記憶ですが、クリスマスイブの夜に大雪で電信柱の電線が切れ停電になりました。家の中が真っ暗な中、買ってきたクリスマスケーキのロウソクだけの灯りで家族4人で電気のついてないこたつに入りケーキを食べ過ぎてしまいました。とても寒かつたですが、子ども心に停電にワクワクしました。まさにクリスマスイブというとてもいい雰囲気でした。いい思い出です。たまの停電もいいもんだ??

◆I.Cさん

子どものときに、クリスマスケーキとして簡単なブッシュ・ド・ノエルを母と一緒に作ったことがあります。当時の自分の年齢も経緯も分からないのですが、チョコクリームを生地に塗りつけてからナイフで木の模様をつけたり、サンタの砂糖菓子や家の形をしたチョコの飾りつけを、母と楽しんだことを覚えています。他の家族も喜んでくれて、とても幸せなクリスマスだったな、と思います。



◆おはなさん

幼稚園の頃に、通つていた幼稚園の園庭にソリに乗つたサンタさんが空から降りてくる夢を見た。とても鮮明だったので夢ではなく現実だと思つてた。周りからサンタさんはいないと言われても信じられず、サンタさんへのお願ひを外から見えるように大きく窓に貼つてた。母から「そろそろ恥ずかしいからやめて」と言われて小学4年生の冬にサンタさんはいないと知つた。

◆スタッフ北川(看護師)

小さい時のクリスマスに関しては、あまり良い印象が残つていません。何故なのか考えたら、私が生まれ

た日が微妙にXmasと近かったため、親がXmasプレゼントに誕生日プレゼントを兼ねていたからだと思いません。他の兄弟は、別々で貰っているのに、何故私だけ合わせて1回なんだーと、悲しみからイラっと、して欲しいと思います。今思うと、貰えただけ良いやん、と思いますし、それでXmasに良い印象がないのは勿体ないな、と思います。

◆スタッフ藤井(精神保健福祉士)

スタッフ藤井は煙突からくるはずなのですが、小さい頃わが家には煙突はありませんでした。それでもわが家にはサンタクロースは来ていたのです。どこから入ってきているのかわかるか。小さい頃の私には不思議でなりません。それが今となつては、いかにサンタクロースがいるように振舞えるかに戦々恐々としているわけです。

◆スタッフ南堀(看護師)

お題を見て思い出したことは、初めて男の子を泣かしたことです。その子は男3兄弟の末っ子でした。お兄ちゃんたちにサンタクロースはいないと言われてショックを受け、私の所に「サンタクロースはいるやんなー」と確かめにわざわざやってきました。私は、もしかしたらサンタはいないかもと疑っていた時期だったので、「いないかも」と答えたなら、その男の子は泣きながら帰っていきなりました。あの頃の重大テーマだったな……

◆スタッフ森臨床心理士

幼児の頃、サンタクロースが来てくれていました。お菓子とかちよつとしたものだったと思います。サンタクロースが来る日の夕食後、母が出かけて不在になることが多く、おそらくサンタのお使いに行っていたと思うのですが、心細い思いとサンタクロースが来てくれた嬉しい気持ちでセツトになって記憶されています。祖父母も父もきょうだいもいてくれたはずなのですが、子どもの心も複雑です。

◆スタッフ松田(作業療法士)

子どものときは、クリスマスが近づくとサンタクロースにお手紙を親に渡すというのが決まりでした。サンタクロースからのプレゼントをもらいたいがあまりに、お願いしているプレゼントへの思いなどを必死に書いていたのを覚えています。クリスマス時期になると、並行して、正月に親戚が集まる準備をしていたので、家族みんながバタバタとしていました。あの時の非日常の雰囲気が好きだったなと思います。

◆スタッフ横山(臨床心理士)

私は小さい頃からクリスマスソングが好きで、外で流れているのを聴くと気分が上がります。特に好きなのは、WHAM!の「ラストクリスマス」、稲垣潤一の「クリスマスキャロルの頃には」、山下達郎の「クリスマスイブ」の3曲です。小さい頃は曲名や歌詞を知らず、何となく曲調が

新メンバー紹介

好きだな、とか雪と合うな、とか思っていたのですが、大人になって、こんなに切ない歌詞だったとは……と知りました。

今月は8名のニューフェイスさんたちに自己紹介を書いていただきました。よろしくお祈りします！

◆クラフトおじさん

伏見区在住です。今まで茨城県、兵庫県、愛知県、岐阜県、広島県、北海道に住んでおいしいものを食べまくりました。いろいろな県の事を知っているので楽しくお話ししましょう。

◆マドーナになったかったさん

京都市在住。娘の影響もあり最近マンガを読むことが多くなりました。これまで読んだ中では「推しの子」や「光が死んだ夏」、「サマータイムレンダ」が面白かったかな。今は「葬送のフリーレン」や「ミギとダリ」などに触手を伸ばしかけています。

◆M.Tさん

京都出身です。最近人生何度目かの韓国ドラマブームが到来しており、日々Netflixを漁る日々を過ごしています。韓国に憧れて鉄の箸を使い始めました。聖地巡りするタイミングを虎視眈々と狙っています。

◆H.日さん

京都市生まれ 大阪・東京育ち 現在宇治に在住です。バックへはJRで通っています。

野球観戦をするのが趣味で、ほとんどがテレビか動画で見ます。たまに球場へ行くこともあります。よろしくお祈りします。

◆チーズさん

京都市在住。BUCにはバスで通っています。私の趣味は岩盤浴とドラマ鑑賞です。最近見たドラマは「きのう、何食べた？」というものです。美味しそうなご飯が出てくるので、それを見て晩御飯を決めることも多いです！

◆K.Sさん

仙台市出身 54歳、JR西大路駅の近くに住んでいます。現在単身赴任で人生初の一人暮らしです。週末は大量に作り置きしたカレーばかり食べてます。今まで食事の用意してくれた奥様の有難さを痛感しています。

◆そらじろーさん

滋賀の栗東から来ています。通所にかかる時間が通勤時間と同じなので、よいリハビリになるなと思いつながら通っています。病気は何度か繰り返しているのですが、今後落ち込み過ぎないように、軽躁のときと抑うつ時の自分の身の症状を把握し、適度に体調を整えられる術を身につけたいです。

最近の楽しみは、子どもと、switchのマリオパーティーで遊ぶことです。

◆MHさん

寺社仏閣が好きで京都に住んでいます。最近森の中を歩いたり、見晴らしのいいところに行ったり、自然の中で過ごす時間が好きです。琵琶湖を見ると癒されます。よろしくお祈りいたします。

お知らせ

Youtube チャンネルのご案内

BUCでは、通所者のご家族や、通所を検討されている方々にBUCでの活動内容を知っていただく為にYouTube チャンネルをご用意しております。興味のある方は左の二次元バーコードからご視聴できます。是非ご覧ください。



バックアップセンター・きょうと YouTube チャンネル

編集後記

1年はあつという間に過ぎますね……。体調に気をつけて年末年始をエンジョイしていきましょう！ (BUC情報発信係のI)